

第 11 回 九頭竜川水系足羽川ダム 事業費等監理委員会の結果概要について

1. 開催日時：平成 30 年 8 月 1 日（水） 10:30～12:00
2. 開催場所：足羽川ダム工事事務所 1 階 第一会議室
福井市成和 1 丁目 2111
3. 委 員：◎荒 井 克 彦（福井大学名誉教授）
桑 原 美 香（福井県立大学経済学部 准教授）
角 哲 也（京都大学 防災研究所
水資源環境研究センター教授）
箱 石 憲 昭（土木研究所 水工研究グループ グループ長）

◎ 委員長（* 50 音順・敬称略）

4. 結果概要

●委員からのご意見及び助言

- 水海川導水トンネル吐口部から下流側において、洪水の流下に伴う影響（洗掘など）について水理模型実験結果も踏まえ、必要な対策を検討する。
- ダムの放流設備が低標高部に位置するため、上載荷重や放流設備下の基礎の厚みなど、貯留型ダムと異なる流水型ダムの特性を考慮して設計する。
- ダム本体の骨材調達にあたり、水海地区の既設砂防堰堤堆砂敷の掘削工事と組み合わせた有効利用の方策についても、事業工程を踏まえて可能性を検討する。
- 出水時の流木流出に対し、流域内に放置されている間伐材の量についても考慮した上で対策を検討する。また、流木の処理方法についても検討する。
- 洪水調節地内の樹木管理にあたっては、伐採木の更なる有効活用について引き続き検討する。